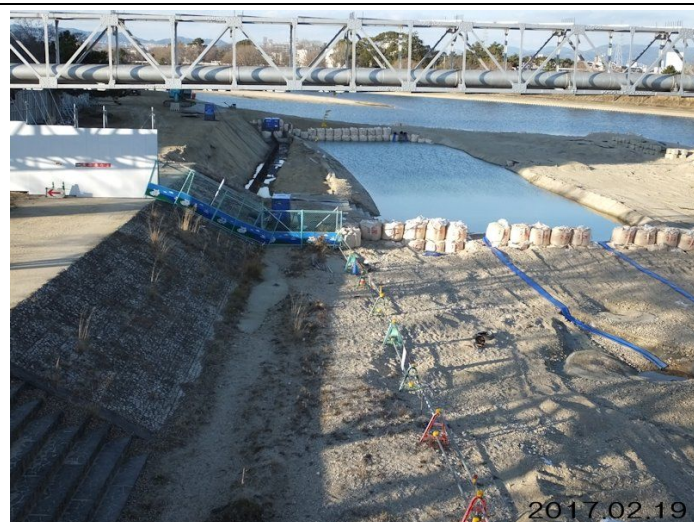


浚渫土砂揚土作業説明版



河口部の浚渫工事は続いていた。



小松工区矢板打ち終了、部分的な護岸掘削が行われた。



武庫大橋下流右岸堤防補強工事は終盤を迎えた。



小仁川は、住宅より高いところを流れる典型的な天井川



等高線の崖に沿って流れる不思議な小仁川

河口部浚渫土砂の揚土場所は分らないが、揚土作業の説明版が建っていた。浚渫工事は継続中。矢板引き抜き工事は一向に始まる気配はなく、矢板付近には土砂堆積が進み砂州再生が進むように見え、浚渫の一方で土砂堆積が進みアンバランスな感じがする。小松工区を始め下流掘り込み区間で進められていた堤防補強工事は終盤を迎え後片付けを残すのみ。今年は雨が少なく、裸地状態の堤防法面も痛めつけられることもなく順調に工事が進んだようである。これから芝張りされる所もあるだろうが活着するまで大きな雨が降らなければと祈りたい。

写真は載せなかったが、2月16日時点の弁天池は池干し中で中央部に水を残し泥状態の池底を露わにしており、表面を掘って貝など底生生物を探したが、生き物らしいものは見つからず、カモが数羽観察できた程度だった。2月23日まとまった降雨で25日には満水、この程度の貯水力しかなく、弁天池から等高線沿いに流れる極端な天井川で、一寸した豪雨で氾濫するのではないかと心配になる。なぜこの様な所を流れるのか不思議な怖い河である。